

# デンマークに学んだ「本物」を選び抜く美意識とそれを継承する意志。

## 効率ではない日常の「質」

古いものに「モダン」をスパイスとして加える欧州では、その「モダン」をよく壁に求めようとします。

デンマークを訪れたときのこと。議員会館では、議員が持ち込む絵に合せて壁の色を塗り替えるといいます。部屋ごとに色が違い、色彩が豊か。

250年前の家を手直しした知人の邸宅では、壁は3年に1回、床は5年に1回塗り直すといいます。100年前の家を改築した友人の別荘はログハウスですが、壁と天井は4回も重ね塗りしてました。しかも白いペンキでベタ塗り。いい木材といえども建材を隠し、日常の暮らしに欠かせない家具を生かすことに心を配るのです。

壁は、その時の気分や暮らし方に合わせた色に塗り替えができるのがメリットといえます。引き渡された家を完成形

だと思ひ込み、壁に穴が開くからと絵も掛けない日本の家とは大違い。塗った壁の色も楽しむのが家づくりの楽しみの一つであり、醍醐味なのです。

デンマークではまた、維持管理の容易さより、本物の素材であるかが優先されます。

ソファや一人掛けチェアは、最高級のヌメ革を使用することもあり、傷がつきやすいものの、強度が高く革そのものの風合い、味わいが人気です。子どもがいる家庭ではシミになることもありすが、それを経年変化や家族の軌跡の一つととらえ、むしろ本物を選択した誇りを優先するところに、美意識の高さを感じます。

## 色褪せない価値を創造し伝える文化

街を歩くと、銅製の大きなベンチが置いてあります。設置したら終わりというのではなく、30〜50年かけて緑青に包

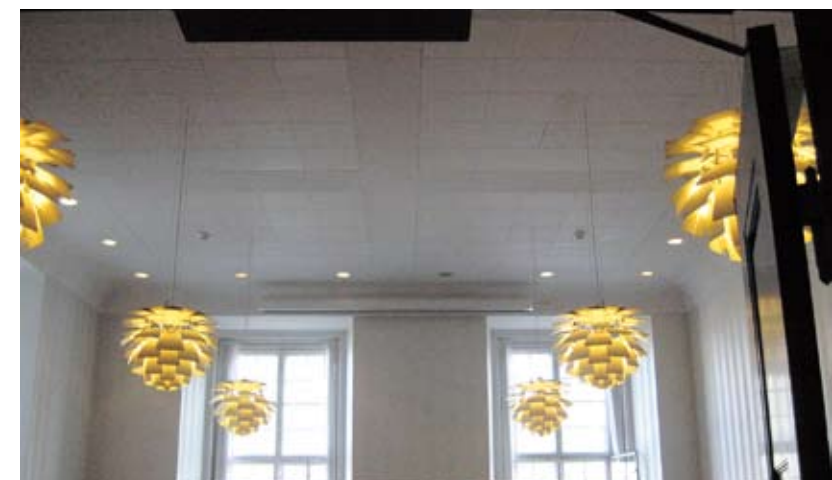
まれた頃、本当に完成するのです。時を重ねて変化していくことまで考慮したもののづくりの姿勢が、こんなところにもさりげなく具現されています。

土日に開催される蚤の市では、約50〜100年ほどのものが当たり前前に売られています。新しいものがつくられているのに、あえて蚤の市で古いものを買うのです。古いものを大切にし、新しいものも長く使い続けることを前提とした素材が使われているのは、こういう日常があるからなのでしょう。

デンマークではいまも、同じデザインの椅子が60年間もつくり続けられ、おそらくは今後もつくり続けられることでしょう。日本では伝統工芸などを小規模でやるケースはあっても、大きなメーカーではありえません。

ベルビューエリアは建築家のアルネ・ヤコブセンがデザインした有名な観光スポットです。グランドデザインから、集合住宅、個人邸、映画館、レストラン、ビーチ、ガソリンスタンドなどすべてが彼のデザインによるものです。とても80年前とは思えない完成度です。

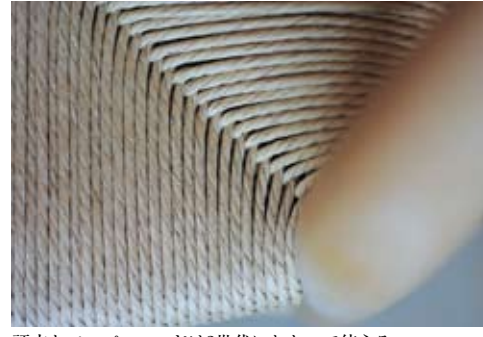
本来、建築とは街並みを構成する大切な「個」です。レイジアナ現代美術館は規制だらけ、見張りが多い日本の美術館と違い、飲み物を飲みながら、写真を撮りながら、気軽に絵を楽しむことができます。1886年から続く紅茶屋は格式張ることなく、お客さんはみんな2〜3日飲む分の茶葉を買いにきています。いいものを気軽に楽しむ文化が根づいて



いるのです。

一組入ると、そこで入り口の鍵をかけてしまう洋服屋もあります。お客さんはゆっくりと買い物を楽しみ満足なサービスを受けられます。商売の神髄が生きています。

不要な親切はありません。トイレなどの案内表示がなく、看板なども控えめです。日本は過剰なインディケーションにより街の風景やデザインが乱れています。いつも成田に着くと軽いめまいに襲われるのは、けばけばしい看板の羅列、大音量の音、建築や街並みの薄っぺらさによるものかもしれません。憂鬱を感じるとともに、どこかで安堵する自分もいたりするのですが。



頑丈なペーパーコードは2世代にわたって使える。



黒い壁面の壁に吸い込まれるようなスワンチェア。



高い吹き抜けを印象的な照明を下げ、安心感をもたらす。



活気のある「蚤の市」。美しい外壁に映える。



美しいYチェアはカラーリングでニュアンスが変わる。



ログの壁を塗った友人の家。



照明は美しい家の「華」だ。



同じ椅子でリズムをつくり、個性的なアートを引き立てる。

おち ひろし●1963年福岡県生まれ。2000年までの7年間、オーディオメーカー駐在員として、シンガポールに駐在。グローバルな視点からインテリアを建築空間の一部としてとらえ、シンプルで大局的なインテリアコーディネートを行う。

●——— 問い合わせ  
クラブエイトスタジオ盛岡  
岩手県盛岡市東安庭2-7-9  
TEL 019-604-1288  
E-mail / surrender@club8studio.jp  
http://www.club8studio.jp